

2022年度 活動報告・2023年度 活動計画

放射線・線量委員会



2023年 7月 7日

放射線・線量委員会 委員長
長束 澄也

目次

1. 委員会の概要

2. 2022年度 活動報告

2.1. J-RIME(医療被ばく研究情報ネットワーク) 総会

2.2. J-RIME 診断参考レベルワーキンググループ

2.3. MITA-XR会議

3. 2023年度 活動計画

1. 委員会の概要

～役割と基本方針～

- ・ 医療機器及びその関連機器の放射線・線量に関して、放射線・線量管理の在り方の検討を行い、懸案事項に対する課題を明確化する。
- ・ 国内外の関係団体（医療被ばく研究情報ネットワーク、日本放射線技術学会、DITTA/MITA、IEC/DICOM）ならびに、当工業会関係部会・委員会、と連携し、課題に対応して行く。

2.

2022年度 活動報告

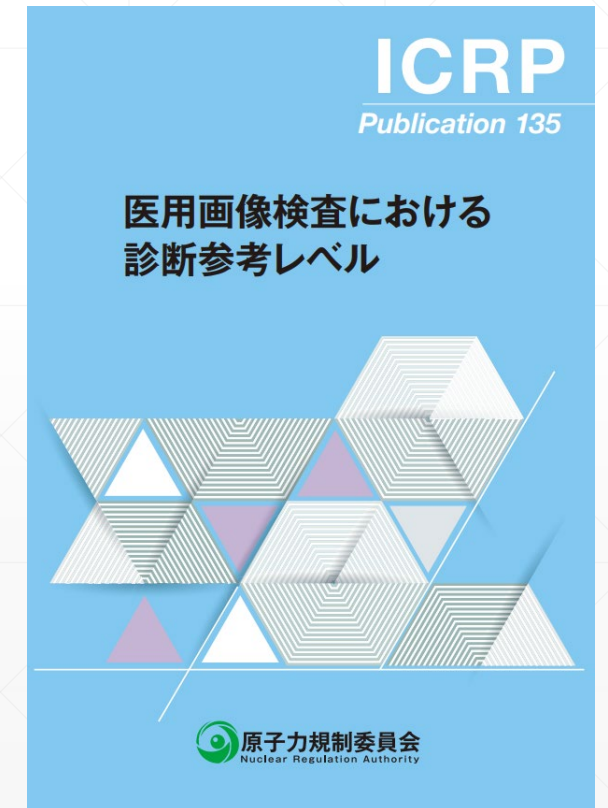
2.1. J-RIME(医療被ばく研究情報ネットワーク)第14回総会 (2022年5月開催)

- ・放射線防護に関わる情報、X線診断装置の線量低減に寄与する機能および線量管理システムに関係する国内外規格の動向を中心に、以下に関する報告を行った。
 - a) IEC61223-8の審議
 - b) 歯科用規格の進捗
 - c) IEC60601-2-65の改正

2.2. J-RIME 診断参考レベルワーキンググループ

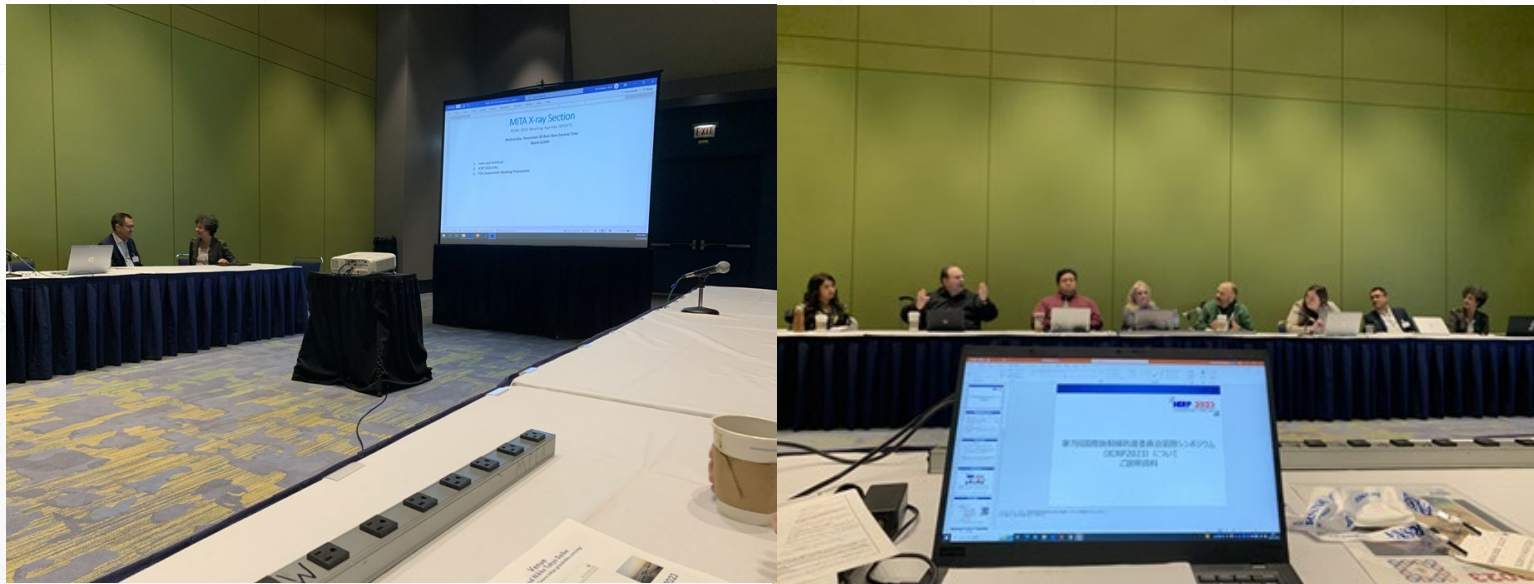
- ・次期診断参考レベル改訂のワーキンググループ（DRL-WG）が設置され、WGメンバーとして活動中。
- ・画像診断装置部分の英訳を担当したICRP Publication 135の和訳版が、2023年3月に公開された。

https://www.icrp.org/docs/P135_Japanese_r.pdf



2.3. MITA (Medical Imaging & Technology Alliance、医療画像技術連合) -XR会議 (2022年11月開催)

- RSNA (北米放射線学会) 2022期間中に米国シカゴで開催された MITA-XR会議に参加して、活動概要とメンバー (事務局) を把握した。
- 会議の中で、今年11月に日本で開催されるICRP2023の概要を説明し、チラシとポスターを渡して、参加を呼び掛けた。



3. 2023年度活動計画

- (1) 社会の変化に先駆けた
世界をリードする医療イノベーションの実現
- (2) 革新的なデジタル技術の活用による、
医療の質向上と医療機器産業拡大への貢献
- (3) 日本の優れた医療、医療システムの
世界への提供と貢献
- (4) 線量最適化活動の推進
- (5) JIRA 基盤活動の充実に向けた活動

ご視聴
ありがとう
ございました

JIRA

一般社団法人 日本画像医療システム工業会
Japan Medical Imaging and Radiological Systems Industries Association